

機関誌「労働総研クォーターリー」総目次

創刊号(1990年12月)

●「労働総研クォーターリー」の創刊にあたって

●労働問題研究の今日的課題

鼎 談 ●激動する世界と日本経済の動向

戸木田嘉久
関 恒義
熊野 剛雄
米田 康彦

研究報告 ● ILO「夜業条約」および同第89号条約議定書に関する労働総研プロジェクト・チーム
見解(案)についての要約

■労働者派遣法に対するわれわれの見解

永山 利和
加藤 佑治
三富 紀敏
桜井 徹
三富 紀敏
神尾 京子
牧野 富夫
大木 一訓
宇和川 邁

国際・国内動向 ■ヨーロッパの鉄道政策と国鉄の「分割・民営化」

■欧米に見るパートタイムに関する政策提言

■ILOジュネーブ本部で初の家内労働問題国際会議

■「連合」・日経連2人3脚の住宅政策—全労連の土地・住宅政策との差異が鮮明に

プロジェクト研究部会報告 ●「現代日本における生活保障体系」プロジェクト

書 評 ●日野秀逸著『世界の医療・日本の医療』

新刊紹介 ●江口英一編著『日本社会調査の水脈—そのパイオニアたちを求めて』内山昂 ●津田達夫著『財界』南
俊太郎 ●西丸震哉著『41歳寿命説』西村直樹

第2号(1991年3月)

●国際政治経済の動向と日本の位置—湾岸戦争はなにをもたらすか—

特 集 ●現代日本の生活と労働者

■現代日本における生活保障要求

■「働き過ぎ」の歯止めへの一提言—第3回過労死を考える集いでの問題提起から—

■住宅問題の今日的課題

●失対制度「廃止」の攻撃と労働者の闘い—新たな「高齢者闘争」に向けて—

国際・国内動向 ■国鉄闘争をめぐる国際連帯—民営化反対は世界の労働組合の重要問題—

■海外の保育事情

■日本の外国人労働者政策と、国連における新マイグラント条約の採択

■EC統合問題とフランス労働総同盟

■「日経連・労働問題研究委員会報告」批判

■教育条件改善の闘いに関連して

プロジェクト研究部会報告 ●「規制緩和問題と経済民主主義」プロジェクト

書 評 ■R・ピーン編著『国際労働統計』—手引と最近の動向—

■高橋祐吉著『企業社会と労働者』

新刊紹介 ●藤本武著『国際比較 日本の労働者—賃金・労働時間と労働組合—』三富紀敏 ●行財政総合研編『外
国人労働者の人権』松林和夫 ●レスター・R・ブラウン編著『ワールドウォッチ地球白書』'90~'91黒
川俊雄 ●大西勝明・大橋英五著『日立・東芝—ハイテク摩擦に直面する電機メーカー』加藤佑治

第3号(1991年夏季号)

●戦費抛出と国民の負担増

特 集 ●女性労働と今日の政策課題

■新「育児休業法」と日本の労働者

■欧米の親休暇に関する政策提言—わが国の育児休業構想に寄せて—

■日本の看護婦と世界の看護婦

■男女平等社会をめざす賃金・生活費・生活時間予備調査報告

—賃金・生活費・生活時間をセットで男女平等にするには—

■女性労働者に関する労働組合による最近の調査

国際・国内動向 ■英国の日系企業と労働組合

—スコットランド労働組合会議大会に参加して感じたこと—

■インド労働者のたたかいにふれて

安藤 実
猪瀬 房子
三富 紀敏
吉津佳代子

女性労働研究部会
中嶋 晴代

筒井 晴彦
岸本 直美

特集・労働総研設立10年の足跡

■成長・連帯の欲求と「自己啓発セミナー」	中原 学
プロジェクト研究部会報告●労働時間問題研究部会	西村 直樹
書 評●片岡昇・萬井隆令編『労働時間法論』	脇田 滋
新刊紹介●江尻尚子他著『看護婦をふやして』引間博愛●『労働問題実践シリーズ』（全8巻）佐々木昭三●『シンポジウム・新しい世界秩序とアジア』加藤益雄	
第4号（1991年秋季号）	
●東アジア経済と労働問題	大谷 巖
特 集●労働時間問題と日本の労働者	
■労働時間短縮闘争の推進	西村 直樹
■労働時間問題の現代的課題	高橋 祐吉
■交通・運輸労働者の労働時間と生活	柴田 悦子
■男女労働者の「生活時間」インタビュー	女性労働研究部会
国際・国内動向 ■アメリカ労組の国家的保健制度要求闘争	小森 良夫
■史上最大の組織合同ラッシュとその背景—最近のイギリス労働組合の一断面—	浅見 和彦
■中小企業研究の現代的動向—国際中小企業学会に出席して—	永山 利和
■家内労働運動と労働組合の役割—二つの家内労働問題国際会議に出席して—	神尾 京子
■会社のやりたい放題…だから「組合をつくりたい」	
—各地方の「未組織はがきアンケート」から—	中島 康浩
プロジェクト研究部会報告●首都圏地域開発と労働運動プロジェクト	小沢 辰男
書 評 ■野中正徳・木下滋・大西広編『自立と協同の経済システム』	中西 啓之
■飯田哲也・遠藤晃編著『家族政策と地域政策』	鈴木 敏子
新刊紹介●佐崎昭二著『建設労働と外国人労働者』椎名恒●牧野富夫編『日本の労資関係の変貌』栗山嘉明●渡辺洋三著『戦後日本の民主主義』内山昂●桜井絹江著『新しい労務管理と女性労働』伊藤啓子	
●創刊号～No.4総目次	
第5号（1992年冬季号）	
●EC統合と日本経済	佐々木 健
特 集●高齢者生活保障の現代的課題	
■高齢者生活保障の今日的課題	江口 英一
■高齢期生活の現実—忘れられた高齢期の貧困—	唐鎌 直義
■高齢者の地域ケア・システム形成の責任と課題	石倉 康次
■医療の「合理化」と「営利化」をめぐる動き	
—5つの病院から追い出されたAさんの例から—	朝日 健二
■高齢者の住宅保障問題	小泉 英雄
国際・国内動向 ■ILO「旅館・飲食店に関する条約及び勧告」について	大木 寿
■混迷のソ連労働組合運動	小林 勇
■過労死をめぐる国際世論の形成—過労死弁護団の国際活動から—	川人 博
■公立学校共済組合の「証券不正事件」について	中ノ目新治
■男女雇用機会均等法をめぐる最近の動き	坂本 福子
プロジェクト研究部会報告●「日本の団体交渉制度—その実態と改革方向」プロジェクト	高橋 祐吉
	村木 正
討論のひろば●「新『育児休業法』と日本の労働者」を読んで	山田 郁子
書 評●鈴木直次著『アメリカ社会のなかの日系企業—自動車産業の現地経営—』	相沢 与一
新刊紹介●加藤佑治監修・労働総研編『フレキシビリティ・今日の派遣労働者』草島和幸●山口孝他著『旭化成・三菱化成』塚田義彦●ダグラス・ラミス他著『なぜ日本人は死なぬ働きのデカ？』木下武雄●山田洋次他著『めんどくさいもの・人間』渡辺純子	
第6号（1992年春季号）	
●労働時間短縮の日本的障害	藤本 武
特 集●規制緩和問題と経済民主主義	
■規制緩和問題と経済民主主義	角瀬 保雄
■金融自由化と経済民主主義	齊藤 正
■公企業の民営化と経済民主主義	桜井 徹

労働総研クォーターリーNo.40(2000年秋季号)

国際・国内動向	■規制緩和と独占禁止法	木元 錦哉
	■労働市場と規制緩和問題	斎藤 力
	■「企業中心社会」に国際的な批判—全労連「日本の労使関係」シンポジウム—	加藤 益雄
	■ガット・ウルグアイ・ラウンドと農産物貿易の「自由化」—米の輸入自由化を中心に—	河相 一成
	■「ソ連」労働組合運動の激動	小林 勇
	■過労死と国際人権法	上柳 敏郎
	■92春闘への取り組み	寺間 誠治
プロジェクト研究部会報告	●賞金・最低賃金問題研究部会	牧野 富夫
討論のひろば	●国際活動のあり方について	深井 龍雄
書 評	●木元進一郎編著『激動期の日本労務管理』	芹沢 寿良
新刊紹介	●星埜恒他著『地域再構成の展望』戸木田嘉久●相沢与一著『社会保障の基本問題』工藤恒夫●稲上毅著『現代英国労働事情』富沢賢治●全国過労死を考える家族の会編『日本は幸福か』鴨田哲郎●朝倉新太郎他著『講座・日本の保健・医療』(全5巻) 訪昭三	

第7号(1992年夏季号)

特 集	●アメリカの医療問題—大量の無保険者問題を中心に—	日野 秀逸
	●東京一極集中と労働者・住民生活	
	■東京一極集中問題を検証する	小沢 辰男
	■一極集中下における首都圏自治体の財政と住民生活	三輪 三龍
	■一極集中と千葉県民への影響	鈴木 正彦
	■土地・住宅問題と長時間通勤	坂庭 国晴
国際・国内動向	■韓国の労働組合運動と民主化闘争	小林 勇
	■イギリス総選挙と労働組合運動	宮田 光雄
	■雇用平等の最前線—女性労働問題研究会・国際シンポジウム—	桜井 絹江
	■労働基準法等見直しの動き	杉下 年
	■国民のための民主的運輸行政をめざして	中村 啓市
プロジェクト研究部会報告	●不安定就業問題研究部会	加藤 佑治
討論のひろば	●本当の数字は—92春闘と「隠しベア」—	塚田 義彦
書 評	●松林和夫著『労働権と雇用保障法』	江口 英一
新刊紹介	●川瀬光義著『台湾と土地政策—平均地権の研究』鈴木浩●久野国夫著『現代資本主義の生産力構造』北村洋基●岩尾裕純著『天皇制と日本の経営』長谷川廣●「月刊銀行マン」編『大銀行のわれら闇を照らす』松岡勉	

第8号(1992年秋季号)

特 集	●PKOと国際動向	
	大國支配強化への「軍事的貢献」——カンボジア派兵は突破口	津田 達夫
	●欧米労働運動の現段階	
	■イギリス労働運動の現段階	森原 公敏
	■2000年にむけたドイツ労働組合の課題	布川日佐史
	■フランス労働組合運動の現段階	小林 勇
	■イタリア労働組合運動の新動向	斉藤 隆夫
	■現代アメリカの労使関係と労働組合運動—自動車産業を中心として—	平尾 武久
国際・国内動向	■アジアの女性労働者—その組織と課題	広木 道子
	■日立女性の昇進・賃金差別事件について	坂本 福子
プロジェクト研究部会報告	●男女平等社会をめざす賃金・生活費・生活時間調査	女性労働研究部会
討論のひろば	●年金改悪世論づくりが走っている	公文 昭夫
書 評	●土居英二著『政策科学と数量分析』	稲葉 和夫
新刊紹介	●竹前栄治他著『労働改革と労働運動』大場秀雄●大塚秀之著『現代アメリカ合衆国論』中本悟●今井けい著『イギリス女性運動史』奥田伸子●江川紹子著『横浜・弁護士一家拉致事件』上条貞夫	

第9号(1993年冬季号)

特 集	●バブルと現代資本主義経済の特質—日本を中心に—	今宮 謙二
	●労働法制「再編」と労働者保護	
	■時代逆行の労働法制改悪批判	松井 繁明

特集・労働総研設立10年の足跡

- 労働者保護法制の危機
■現下における雇用・失業動向の若干の特徴と労働者保護
■〈資料〉「労働基準法研究会報告」「全労連の見解」
西村 直樹
内山 昂
- 国際・国内動向 ■ロシアの資本主義化の現実
■ドイツ統一と不況は労働組合を弱めるかー労働者への犠牲と対決するIGメタルー
堀江 則雄
加藤 益雄
堀 幾雄
■政府を追いつめる看護婦闘争ー「良い医療・良い看護」の国民の期待担ってー
松尾 邦之
塩田庄兵衛
- プロジェクト研究部会報告●労働時間問題研究部会
議論のひろば●労働組合の国際活動
書 評●三富紀敬著『欧米女性のライフサイクルとパートタイム』
桜井 絹江
新刊紹介●角瀬保雄監修、労働総研編『規制緩和問題と経済民主主義』坂田晋作●大槻健著『韓国教育事情』池田靖子●支払基金の昇格裁判を記録する会編『女性昇格時代』中村東輝子
●総目次 (No.5～8)
- 第10号 (1993年春季号)
●国境なきヨーロッパ資本主義のパラドクスー新超帝国主義論への仮説的覚え書きー
佐々木 健
鼎 談●今日の世界と日本経済の動向をどう見るか
関 恒義
熊野 剛雄
米田 康彦
神尾 京子
- 国際・国内動向 ■非定型就労層のもとする保護とは何か
ーILOアジア太平洋総局訪日視察団との交流からー
■不況下の女性労働
川口 和子
議論のひろば ●ローカルセンターと調査・政策・理論活動
中西 七生
書 評●戸木田嘉久著『経済民主主義と現代資本主義』
小森 良夫
新刊紹介●鷲見友好著『日本の国家財政』安藤実●宮崎義一著『複合不況』米田康彦●ジュリアン・ジャクソン著『フランス人民戦線史』三好正巳●真田是他編集委員会編『日本の福祉はこれでいいのか』谷川三枝
- 第11号 (1993年夏季号)
●国際的視野から見た今日の政治状況
増島 宏
特集●東アジア経済と日本の労働者
■今日におけるアジアと日本ー天皇訪中から南沙諸島での対決へー
佐々木隆爾
■ベトナム・カンボジアの最近の情勢をめぐって
古田 元夫
■日本企業の海外進出と日本の労働者
大林 弘道
■アジア労働者との連帯
原 嘉彦
- 国際・国際動向 ■ベヴァリッジ50周年社会保障国際会議に出席して
岩田 正美
■「タクシーのありかたを考える国際シンポジウム」をふりかえって
桜井 徹
ー規制緩和の問題点とあるべき規制改革に関する論点ー
■働くものの内発的な地域開発と地方自治ー「四国まつり」の経験に学ぶー
橋本 了一
- プロジェクト研究部会報告●「日本的労使関係」プロジェクト
木元進一郎
議論のひろば●「環境問題への対応」と不況の関連はー「クォーターリ」No.10の鼎談を読んでー
岡本 一
書 評●筆宝康之著『日本建設労働論』
徳田 欣次
新刊紹介●田坂敏雄著『ユーカリ・ビジネス』森井淳吉●基礎経済科学研究所論『日本型企業社会の構造』藤田実●社会保障研究所編『女性と社会保障』唐鎌直義●小沢辰男他編『暮らしにひかりをーいま転換のとき』加藤一郎
- 第12号 (1993年秋季号)
●現代の労働者階級の状態
江口 英一
特集●ホワイトカラーと今日の雇用調整
■資本蓄積とホワイトカラーの地位
成瀬 龍夫
■ホワイトカラーをめぐる「過剰」・「不況」状況と雇用調整
伍賀 一道
■学生と就職問題ー昨今の変化ー
馬場 宏
■ホワイトカラー女性労働者と雇用調整ー銀行における事例を中心にー
志賀 寛子
- 国際・国内動向 ■全労連アメリカ・カナダ調査団報告
元野 範久
■東京サミットの焦点ー冷戦体制維持と危機下の蓄積戦略を確認ー
小森 良夫
■日本における外国人労働者問題ー社会政策学会第86回大会についてー
森 廣正

- プロジェクト研究部会報告●94春闘の前進のためにー賃金・最賃部会と『国民春闘白書』づくりー 牧野 富夫
討論のひろば●全労連の調査政策活動と学者・研究者との連携について 中島 康浩
書 評●岩井浩著『労働力・雇用・失業統計の国際的展開』 豊田 尚
新刊紹介●黒木三郎他編『新国有林論』河相一成●布施晶子著『結婚と家族』松浦勲●塩田庄兵衛著『幸徳秋水』
川村善二郎●野村拓著『みんなの医療総論ー医療から見えるもの』宇和川邁

●総目次 (No.9~12)

第13号 (1994年冬季号)

- NAFTAと軍民転換に揺れるアメリカ 中本 悟
特 集●激化する国際失業と日本の労働者
■欧米における失業の今日的な特徴 三富 紀敏
■雇用をめざす「草の根」からのたたかいーアメリカー 坂本 満枝
■現在の雇用・失業情勢と労働力政策について 内山 昂
国際・国内動向 ■アメリカにおける女性の雇用と就業ーIWPRの93年報告書からー 岸野 一郎
■社会保障の最近の問題について 茶山他家司
■パート法と均等法ー差別拡大・固定化への整合性ー 山田 郁子
■人事院の公務員60歳代前半の雇用構想について 金澤 誠一
プロジェクト研究部会報告●首都圏地域開発と労働運動プロジェクト 小沢 辰男
討論のひろば●情報通信分野の政策研究について 板尾 惇
書 評●相澤與一著『社会保障「改革」と現代社会政策論』 下山 房雄
●竹中恵美子編著『グローバル時代の労働と生活』 伊藤 セツ
新刊紹介●柴山恵美子著『新・世界の女たちはいま』矢野操●ジュリエット・ショア著『働きすぎのアメリカ人』高橋祐吉●井上秀次郎著『現代大企業の生産管理と民主的統制』角瀬保雄●東京労連他編『視た！聴いた！学んだ！ILO』筒井晴彦

第14号 (1994年春季号)

- 社会保障をどうしようというのかー社会保障将来像委員会報告批判ー 小川 政亮
特 集●家族・保育政策ー国際家族年と労働者階級
■国際家族年と労働者階級 布施 晶子
■今日における保育政策の動向ー国の保育制度「改革」と公的保障拡充ー 逆井 直紀
■国際家族年と労働者家族 伊藤 セツ
■EC (EU) における家族・保育政策の動向 木下比呂美
国際・国内動向 ■クリントンの医療保障法案をめぐる諸困難 日野 秀逸
■女性と開発に関するアジア太平洋NGOシンポジウム 中嶋 晴代
ー平等・開発・平和ー国連第4回世界女性会議にむけてー
■日本型企業社会と社会政策ー社会政策学会第87回研究大会についてー 中川 スミ
プロジェクト研究部会報告●中小企業問題研究部会 福島 久一
討論のひろば●公務の労使関係をめぐって 伊藤 良文
書 評●江口英一監修・労働総研・全労連編『現代の労働者階級』 道又健治郎
●伊藤陽一他編著『労働統計の国際比較』 佐藤 博
新刊紹介●伊藤セツ著『両性の新しい秩序の世紀へ』桜井絹江●大澤準一・上掛利博編『福祉都市を創る』岡崎祐司●F.Kカウル著・日野秀逸訳『アウシュビッツの医師たち』儀我壮一郎

第15号 (1994年夏季号)

- 特 集●日本独占資本の改革ビジョンとその批判 戸木田嘉久
■日本独占資本の改革ビジョン批判 上瀧 真生
■小沢戦略第二段階の狙いと矛盾ー政変劇と『日本改造計画』を読むー 大須 真治
国際・国内動向 ■コメ市場開放、決断の構図 内山 昂
■G7雇用会議はなにを示したか 浅倉むつ子
■国連女子差別撤廃委員会における日本政府レポートの審査について 荒川 幸子
■ゼネコン汚職ー深化した腐敗の構造ー 宇和川 邁
■病院給食有料化の動きー公的医療保険の空洞化への布石ー 永山 利和
プロジェクト研究部会報告●外国人労働者問題研究プロジェクト 片岡 克己
討論のひろば●旗を焼くもの、立てるもの

特集・労働総研設立10年の足跡

書評 ●三好正巳著『産業労働論序説』

仲村 政文

●『嶋津千利世著作選集』

柴田 悦子

新刊紹介 ●野村正實著『トヨティズム』 猿田正機 ●小林英夫・林卓史編著『アセアン諸国の工業化と外国企業』 藤

井光男

第16号 (1994年秋季号)

●発達した資本主義諸国の失業問題を考えるー日本とヨーロッパを中心にー

大木 一訓

特集 ●社会保障の今日的課題

■国民生活の危機と社会保障「改革」

浜岡 政好

■高齢者福祉政策と公的介護保険構想

武田 宏

■年金・医療改悪の軌跡と構図

公文 昭夫

国際・国内動向 ■イタリア労働組合運動ー感想的報告

高木 督夫

■労働の質の変化とリストラ「合理化」下の米国通信労働者

鈴木 幸恵

ー全米通信労組 (CWA) 交流調査団に参加してー

■女子学生の就職難を考える

梅村早江子

■うんゆー一般の最近の動向についてー基本路線にもとづく運動と組織の強化ー

坂田 晋作

プロジェクト研究部会報告 ●関西圏産業労働研究会

上瀧 真生

討論のひろば ●「県労連は不知」とローカルセンターを否定する国

小川 英雄

書評 ●J.ウェスターガード著『イギリス階級論』

濱嶋 朗

●久保新一著『戦後世界経済の転換』

五木 武利

新刊紹介 ●竹中恵美子・久場嬉子編『労働力の女性化』 津田美穂子 ●池上惇著『生活の芸術化』 儀我壮一郎 ●鹿

児島経済大学地域総合研究所編『変わりゆく地域と産業』 木村保茂 ●清山卓郎著『日本経済を読む』 服

部文男

第17号 (1995年冬季号)

●日本企業のアジア進出

儀我壮一郎

特集 ●賃金抑制政策の特徴とその背景

■賃金抑制政策の特徴とその背景

小越洋之助

■労働者生活と賃金

金澤 誠一

■90年代不況と女性パートの賃金

桜井 絹江

■ドイツ金属産業労組と95年労働協約交渉

宮前 忠夫

●スウェーデンの経済政策についてー中間的報告ー

米田 康彦

国際・国内動向 ■ヨーロッパ労働経済学会大会に出席して

加藤 佑治

■NAFTA反対と米労働運動の課題

小林 由知

■全労連「アジア・太平洋労働組合シンポジウム」について

加藤 益雄

■不況下に働く女性への差別ー募集、採用、昇進、賃金差別等を中心に

坂本 福子

書評 ●高橋祐吉著『労働者のライフサイクルと企業社会』

藤田 実

新刊紹介 ●工藤晃著『90年代不況』 西村直樹 ●藤岡義昭著『教職員の権利・賃金・労働条件の諸問題』 桑江常彦

●総目次 (No.13~16)

第18号 (1995年春季号)

●国民経済・国民生活と1995年度予算

鷺見 友好

特集 ●情報通信網と労働者階級

■情報ネットワークの発展と世界史的位置

松石 勝彦

■情報ネットワーク技術・労働ーマルチメディアの社会的意味

野口 宏

■リストラと情報ネットワーク

清山 卓郎

■情報ネットワークの発展と労働者階級

枋尾 惇

国際・国内動向 ■一経済学者のみた最近のポーランド

神代 光朗

■フルタイム労働者の均等待遇を定めたILOパートタイム労働条約・勧告

中嶋 晴代

■NKKのリストラ「合理化」について

西村 直樹

書評 ●職業・生活研究会編『企業社会と人間』

伍賀 一道

●伊藤陽一編著『女性と統計』

芳賀 寛

新刊紹介 ●山口義行・小西一雄著『ポスト不況の日本経済』 服部泰彦 ●労働経済研究所編『労働組合運動に生

きるー石垣辰男の仕事』 石澤賢二

第19号 (1995年夏季号)

- 政財界の21世紀戦略と経済民主主義
—規制緩和で労働者国民の生活はどうか— 角瀬 保雄
- 特集●阪神大震災から何を学ぶか
■阪神・淡路大震災と日本の政治経済 菊本 義治
■復興まちづくりはいかにあるべきか 塩崎 賢明
■阪神大震災による失業・雇用の現状と課題 草島 和幸
■被害者の暮らしをいかにたて直すか 黒津 右次
国際・国内動向 ■第4回世界女性会議に向けて 大関 清子
■ペナン消費者協会の活動に想う 大木 一訓
■悪化する母性保護—全損保支部調査から 北山 利夫
書評●森岡孝二著『企業中心社会の時間構造』 水口 洋介
新刊紹介●バーバラ・エーレンライク著『「中流」という階段』中本悟 ●野村正實著『終身雇用』川辺平八郎
●河相一成著『食糧制度と経済民主主義』重富健一

第20号 (1995年秋季号)

- 規制緩和と労働市場 加藤 佑治
- 特集●戦後50年と日本労働運動
■日本の社会運動50年 塩田庄兵衛
■労働組合運動の50年 塚田 義彦
■日本の労働組合運動の現状 大江 洗
■戦後50年—労働法に問われるもの 片岡 昂
国際・国内動向 ■ILO世界労働報告書—「高齢労働者の諸問題」— 小林 勇
■イギリス女性と低賃金 桜井 絹江
■最近の過労死認定問題 佐々木昭三
投稿●パートタイム労働と社会保障問題 相澤 与一
書評●脇田滋著『労働法の規制緩和と公正雇用保障』 長井 偉訓
●早川征一郎著『国・地方自治体の非常勤職員』 伊藤 良文
新刊紹介●清山洋子著『高齢社会を考える視覚』唐鎌直義 ●横田茂・永山利和編『転換期の行財政システム』草
島和幸 ●新婦人茨城県本部編『知らなきやそん言わなきやそんそん』小島妙子 ●全商連婦人協編
『全国業者婦人の実態調査～仕事・くらし・健康』池田靖子

第21号 (1996年冬季号)

- 北京女性NGOフォーラム'95と第4回世界女性会議が示したもの 伊藤 セツ
- 特集●日本資本主義の現状と労働者
■転換期にある日本経済 米田 康彦
■組織的金融犯罪としての銀行不良資産 熊野 剛雄
■雇用・失業の構造変化と雇用政策 丸谷 肇
国際・国内動向 ■日独労働問題共同セミナー 徳山 重次
■TUCの現段階と全国最低賃金会議 山中 敏裕
■社会開発サミットのフォローアップと労働組合運動の課題 小森 良夫
■福島県における産業空洞化と地域破壊の実態 小川 英雄
■政府の「雇用無策」へ高まる不安と怒り～深刻化する阪神大震災の大量失業～ 草島 和幸
書評●猿田正機著『トヨタシステムと労務管理』 平沼 高
●岩田正美著『戦後社会福祉の展開と大都市最底辺』 庄谷 怜子
●木元進一郎監修・労働総研編『動揺する「日本の労使関係」』 平尾 武久
新刊紹介●田沼肇著『私のなかの平和と人権』宇和川邁 ●愛知労問研・女性労働部会編『学生の就職実態アン
ケート』坂井希 ●俵義文・石山久男著『高校教科書検定と今日の教科書問題の焦点』森下昭平
●総目次 (No.17～20)

第22号 (1996年春季号)

- ナショナル・ミニマムの確立と日本の最低賃金制運動 黒川 俊雄
- 特集●「新保守主義経済学」と日本の労働者
■「新保守主義経済学」と日本における規制緩和と万能論 小谷 崇

特集・労働総研設立10年の足跡

- 島田晴雄「新産業雇用創出論」批判 北野 正一
 ■反動的政治経済学と労働運動 藤吉 信博
 国際・国内動向 ■ベトナムの新しい労働法典 芹沢 寿良
 ■男女雇用機会均等問題研究会報告に関連してー均等法・労基法改悪をめぐる動きー 坂本 福子
 ■ワーキング・ウイメンズ・ネットワーク（大阪）の発足 越堂 静子
 書 評 ●飯盛信男著『平成不況とサービス産業』 中原 弘二
 ●井上英夫・上村政彦・脇田滋編著『高齢者医療保障ー日本と先進諸国』 野村 拓
 新刊紹介 ●片岡具他編『労使紛争と法ー解決への道』 斎藤周 ●鈴木勉他編『高齢時代の地域福祉プラン』 村田 隆一
 ●日野秀逸著『保健活動の歩みー人間・社会・健康』 儀我壮一郎
- 第23号（1996年夏季号）
- 日本の労働組合をどう見るか 大木 一訓
- 特集 ●女性労働者の状態と男女平等要求ー均等法の見直しにあたってー
- 女性労働者の状態と均等法闘争の課題 笹沼 熙子
 ■男女雇用機会均等法改正の課題 今野 久子
 ■ドイツの男女雇用平等法制 斎藤 純子
 ■均等法をたたかって 岸本 直美
- 国際・国内動向 ■アメリカとメキシコの労働者の国際連帯 ロビン・アレクサンダー
 ーUE-FATの戦略的組織化同盟ー
 ■ジョン・マニング氏研究所訪問 金田 豊
 ■ドイツの労働協約交渉で何が起きているか 宮前 忠夫
 ー「雇用・立地同盟」下で急速に推し進められる企業負担ー労働条件の切下げー
 ■全労連の「解雇を規制する法律制定」運動 佐原 忠連
- 書 評 ●角瀬保雄著『現代会計基準論ー批判から提言へー』 筒井 晴彦
- 新刊紹介 ●益子純一編著『検証レッドバレーー電力産業労働者の闘いと証言ー』 二瓶英夫 ●民主法律協会派遣
 労働研究会編『がんばってよかったー派遣から正社員へー』 中山徹 ●就職難に泣き寝入りしない女
 子学生の会編『超氷河期だって泣き寝入りしない！ー女子学生就職黒書ー』 村越洋子
- 第24号（1996年秋季号）
- 介護保障と労働運動の課題 日野 秀逸
- 特集 ●現代労働組合の基本問題
- 現代労働組合の基本的課題 芹沢 寿良
 ■世界の労働組合運動の現状 宮前 忠夫
 ■膨大な未組織労働者を戦列に加えるか 酒井 謙彌
- 国際・国内動向 ■第83回ILO総会家内労働条約を採択する 豊田 太一
 ー条約批准、家内労働法抜本改正の運動をー
 ■都市銀行「リストラ」と金融労働者 山崎 豊
 ■日本農業と農業労働者 中沢 善治
- 書 評 ●木本喜美子著『家族・ジェンダー・企業社会』 笹谷 春美
 ●坂本重雄・山脇貞司編著『高齢者介護の政策課題』 浜岡 政好
- 新刊紹介 ●坂本修・坂本福子著『格闘としての裁判』 清水明 ●柴田嘉彦著『世界の社会保障』 原富悟 ●渡辺
 貞雄編著『21世紀への社会政策』 布川日佐史 ●法政大学大原社会問題研究所編『証言・差別会議の
 誕生』 西村直樹 ●増田れい子著『看護ーベッドサイドの光景』 江尻尚子
- 第25号（1997年冬季号）
- 日本の財政民主主義は再生できるか 内山 昭
- 特集 ●レギュレーションとは何であったのか
- レギュレーション理論と日本の労働者 小泉 宏
 ■レギュレーション理論一考 下山 房雄
 ■レギュレーション学派と現代経済学 北原 勇
- 国際・国内動向 ■ILO第96号条約（有料職業紹介所に関する条約）改正問題 伍賀 一道
 ■アメリカの雇用不安ー『ニューヨークタイムズ』の大特集よりー 仲野（菊池）組子
 ■国際貧困根絶年ーそして、豊島区母子餓死事件を契機に 小川 政亮
 ■いま沖縄は 嶺間 信一

労働総研クォーターリーNo.40(2000年秋季号)

討論のひろば ●『季刊労働総研』No.24を読んで

書 評 ●桜井徹著『ドイツ統一と公企業の民営化』

●J. リフキン著『大失業時代』

新刊紹介 ●相沢与一著『社会保障の保険主義化と「公的介護保険」』津田光輝 ●『東京都福祉事業協会75年史』永岡正巳 ●川口和子他著『私たちのめざす平等への道』池田靖子

●総目次 (No.21~24)

金光 奎

玉村 博巳

加藤 佑治

第26号 (1997年春季号)

●過労死の救済と予防

特 集 ●消費税と財政民主主義

■日本における「財政危機」論と労働者・国民

■政府・財界の財政政策と消費税闘争

■社会保障・福祉財源と97年度予算案

ー財界戦略を忠実に実行する橋本内閣「6つの改革」批判ー

山田 信也

鷺見 友好

村上 晴男

草島 和幸

国際・国内動向 ■イタリア労働組合運動をどう見るか

■同志社大学国際シンポジウム

ー日本およびスウェーデンにおける仕事・リハビリテーションおよび福祉ー

■社会政策学会第93回大会の報告と討議

■産業空洞化と地域雇用問題ー岐阜県を事例としてー

高木 督夫

高島 進

庄司 博一

木村 隆之

書 評 ●『シリーズ労働運動』全15冊

辻岡 靖仁

新刊紹介 ●労働行政のあり方に関する研究会編『「規制緩和」「地方分権」と労働行政のあるべき方向』上条貞夫 ●全労連女性部編『仕事・職場と家庭に関する調査』報告書 桜井絹江 ●日本科学者会議公害環境問題研究委員会編『21世紀型企業の環境保全戦略』館浩道

第27号 (1997年夏季号)

●社会保障問題の今日的性格

特 集 ●「行政改革」と日本の労働者・国民

■多国籍企業段階の日本経済と橋本行革

■省庁再編論の位置とめざすもの

■労働分野の規制緩和・行政改革論の特徴と問題点

■「行政改革」と対決し真の行政改革のためにー日本の進路を問うー

唐鎌 直義

二宮 厚美

浜川 清

脇田 滋

小林 洋二

国際・国内動向 ■韓国労働組合運動の現段階

■イギリスのホームレス問題

■J C の賃金交渉と春闘のこれから

■「女子保護」撤廃反対運動の広がり

中山 徹・嵯峨 嘉子

小森 良夫

西村 直樹

池田 靖子

討論のひろば ●『季刊労働総研』No.25を読んで

福本 一博

書 評 ●前川恭一・山崎敏夫著『ドイツ合理化運動の研究』

島崎 晴哉

●遠藤幸男著『就業構造の変化と労働者の生活』

斎藤 力

新刊紹介 ●中田照子他著『日米のシングルマザーたち』渋谷敦司 ●橋本宏子著『女性福祉を学ぶ』富永静枝 ●吉田敬一著『転機に立つ中小企業』小谷紘司 ●編集委員会編『弾力化・規制緩和と社会政策』近松順一 ●戸塚章介著『都労委が危ない!』中野謙司

第28号 (1997年秋季号)

●いま改めて医療問題を考えるー医療総改悪と診療報酬制度ー

特 集 ●多国籍企業とアジア

■日本多国籍企業と東アジア経済

■アジアの産業「高度化」と日本ーME=情報産業を中心にしてー

■日本多国籍企業とアジアの女性労働者

西岡 幸泰

大木 一訓

藤田 実

川口 和子

国際・国内動向 ■転機を迎えたカナダの労働運動

■医療営利化との闘い、各国共通の課題

ー「医療の公共性と医療労働者」国際シンポジウムが示したものー

小林 由知

桂木 誠志

書 評 ●庄谷怜子・中山徹著『高齢在日韓国・朝鮮人』

吉原 聡子

●牧野富男監修・労働運動総合研究所編『財界新戦略と賃金』

金澤 誠一

●下山房雄著『現代世界と労働運動ー日本とフランス』

三好 正巳

特集・労働総研設立10年の足跡

- 新刊紹介●公文昭夫著『政府・財界の社会保障大リストラ戦略』 宇和川 邁
- 第29号 (1998年冬季号)
- 金融ビッグバンと国民生活 野田 正穂
- 特集●ヨーロッパ労働運動の力量とその問題点
- EU通貨統合と欧州労働組合運動の課題 宮前 忠夫
- トラックストとEU統合 藤好 重泰
- 国際・国内動向 ■再編過程に入ったメキシコの労働運動と政治 小林 由知
- 日本女性と雇用の不安定化ー『ル・モンド』より 草間 輝子 (訳)
- 広島産業空洞化と労働運動 二見 伸吾
- 雇用・就業とくらしのための「地域政策」ー第2回地域政策研究全国交流集会報告ー 辻岡 靖仁
- 書 評 ■上原信博著『現代日本資本主義における農業問題』 暉峻 衆三
- 早川征一郎著『国家公務員の昇進・キャリア形成』 戸木田嘉久
- 木村保茂著『現代日本の建設労働問題』 佐藤 眞
- 新刊紹介●鹿児島経済大学地域総合研究所編『地域のくらしと高齢化社会』 横山寿一●千田忠男編著『労働科学論入門』 佐々木昭三●塩田庄兵衛著『私たちの自由民権運動』 角瀬保雄
- 総目次 (No.25~28)
- 第30号 (1998年春季号)
- 日本経済の現状と構造不況打開への道 関 恒義
- 特集●アメリカ資本主義をどう見るか
- アメリカ経済・その現状と展望ーアメリカは世界同時不況の歯止めになりうるか 佐藤 定幸
- 覇権大国アメリカと現代帝国主義 浅井 基文
- 「不安階級」と「雇用不安パラダイム」ー「繁栄」下に増大する雇用不安ー 大塚 秀之
- アメリカ労働運動の新展開 秋元 樹
- 国際・国内動向 ■ラテンアメリカの経済1997年ー新自由主義の展開 岡部 廣治
- 社会政策学会95回大会に出席して 相沢 与一
- 書 評 ■戸木田嘉久著『「構造的失業」時代の日本資本主義』 下山 房雄
- 柴田悦子著『物流経済を考える』 国分 武
- 新刊紹介●戸木田嘉久・三好正巳編著『生協職員論の探求』 仲村政文●中央大経済研究所編『社会保障と生活最低限』 草島和幸
- 第31号 (1998年夏季号)
- ヨーロッパ労働運動の新しい展開 一ノ瀬秀文
- 特集●雇用・失業問題とその打開への道
- 雇用・失業問題とその打開への道ー特集にあたって 戸木田嘉久
- 大量化・長期化する失業者の生活と雇用・就労保障の現状と課題 草島 和幸
- 金融ビッグバンによる地域経済と雇用を破壊する攻撃とのたたかい 大木 寿
- フランスにおける失業の深刻化と失業反対闘争の高揚 小森 良夫
- 国際・国内動向 ■シンポジウム「グローバリゼーションと労働法」に参加して 松尾 邦之
- アウグスト・ペーベル『選集』の完結によせて 伊藤 セツ
- イタリアの週35時間労働の法制化ー法案の内容と闘いの現状 宮前 忠夫
- 富山県における産業構造の変化と経済不況の現状 友相 彰
- 書 評 ■加藤佑治・内山昂監修・労働総研編『規制緩和と雇用・失業問題』 関 恒義
- 日弁連・両性の平等に関する委員会編『国際化時代の女性の人権一両性の平等と自立』 芹澤 壽良
- 新刊紹介●建設政策研究所・中小商工業研究所共編『建設産業の現在』 丸山富治●保団連編『今後の「医療改革」に立ち向かうために ドイツの教訓ー資料集ー』 宇和川邁
- 第32号 (1998年秋季号)
- アメリカ労働運動をどう見るか 戸塚 秀夫
- 特集●頻発する年少者犯罪と日本の労働者・国民
- 少年非行は誰の責任か？ 山内 尚俊
- 非行少年更正への取組ー家裁現場から見た少年法「改正」論議 松崎 一郎
- 子どもの「新しい荒れ」と教育現場の要求 倉本 頼一
- 大人は自分のやって来たことを振り返ってー子どもたちは変わったか？ 高原 数則

労働総研クォーターリーNo.40(2000年秋季号)

国際・国内動向	■イタリアの左翼政党と労働組合	高木 督夫
	■イギリスにおける最低生活保障の動向	唐鎌 直義
	■街づくりと地域経済の振興をめざす共同の取組み	亀原 義明
書 評	●牧野富男監修労働総研編『「日本の経営」の変遷と労資関係』	金田 豊
	●加瀬和俊著『戦前日本の失業対策』	大須 真治
新刊紹介	●愛知労問研編『自動車産業の賃金』	境 繁樹
第33号(1999年冬季号)		
	●職場の変化をどうみるかー運動の飛躍をめざして	小林 宏康
特 集	●社会保障の現局面をさぐる	
	■国家財政から見た社会保障	成瀬 龍夫
	■女性の年金権問題	公文 昭夫
	■介護保険制度への変化の中でーホームヘルパーと地域福祉	小野 壽彦
	●ヨーロッパ労働運動再論ーフランスを中心に	一ノ瀬秀文
国際・国内動向	■フランスの教員の労働時間と給与はヨーロッパの平均値ー『ル・モンド』より	草間 輝子(訳)
	■男女共同参画社会基本法(仮称)の制定について	大塚 明子
	■ILOが異常な厚生省に「勧告」ー全医労への組織攻撃はILO98号、87号条約違反	宇和川 邁
書 評	●関恒義著『現代の経済原論』	北川 和彦
	●法政大学大原社会問題研究所編『現代の韓国労使関係』	金元 重
新刊紹介	●木下滋他編『統計ガイドブックー社会・経済、第2版』岩井浩●宮原寿男著『「世界の日立」に挑む』中山森夫	
	●総目次(No.29~32)	
第34号(1999年春季号)		
	●大店立地法等三法の基本性格	本間 重紀
特 集	●青年問題と日本の労働者	
	■転機にたつ青年問題	竹内 真一
	■日本の高校生と高校問題	橋本 三郎
	■大学改革と日本の大学生	岩佐 克彦
国際・国内動向	■欧州社会保障学会シンポジウムと欧州労働経済学会第10回年次大会に参加して	伊藤 セツ
	■動き始めた中国における社会保障の制度構築	焦 培欣
	■くらしと雇用を守る国民の共同をどうすすめるかー第3回地域政策研究全国交流集会報告ー	大須 真治
書 評	●柴田嘉彦著『日本の社会保障』	原富 悟
	●牧野富夫編『ものづくり中小企業の可能性』	福島 久一
新刊紹介	●塩田庄兵衛著『土佐のうちそと』儀我社一郎●藤井治枝・渡辺峻編著『日本企業の働く女性たち』桜井絹江	
	●加藤佑治常任理事の死を悼む	黒川 俊雄
第35号(1999年夏季号)		
	●新ガイドライン・米国と日本ー戦後社会の構造転換	渡辺 治
	●雇用流動化と最低賃金制への視点	草島 和幸
	●北海道の政治経済状況と当面する課題	片岡 克己
国際・国内動向	■第2ラウンドを迎えたフランスの週35時間制闘争	宮前 忠夫
	■韓国訪問雑感	柿崎 繁
	■税関賃金差別裁判横浜事案東京高裁逆転勝利判決の歴史的意義	上山 興士
書 評	●木元進一郎著『能力主義と人事考課』	黒田 兼一
	●角瀬保雄編著『「大競争時代」と規制緩和』	藤田 実
新刊紹介	●建設労働協約研究会編『建設現場に労働協約を』荒川幸子●真田是他著『「社会福死」への道』逆井直紀	
第36号(1999年秋季号)		
	●金融と日本経済の現状と課題	小西 一雄
特 集	●公的サービスと民主的行政改革	
	■公的サービスと民主的行政改革	小沢 辰男

特集・労働総研設立10年の足跡

- 公共事業改革の課題
 ■行政改革・地方分権の推進と社会保障の変質
 国際・国内動向 ■アジア諸国の経済危機と女性労働者の現状
 ■産業空洞化と労働運動・福岡一産業構造の再編と就業構造の空洞化－
 ■60兆円の公的資金投入と銀行リストラ
 書 評●下山房雄他編著『現代の交通と交通労働』
 新刊紹介●牧野富夫著『大競争時代の賃金体系』生熊茂実●あいち「青春の日々」刊行委員会編『「女工哀史」を
 むりかえた織姫たち』川口和子
- 中山 徹
 浜岡 政好
 広木 道子
 藤田 勝輝
 田中 均
 柴田 悦子
- 第37号 (2000年冬季号)
 ●21世紀に向かう日本の経済政治状況と労働運動～1つの覚え書
 特 集●「3つの過剰」論と21世紀戦略
 ■過剰雇用と流動化政策
 ■産業構造の転換と産業・雇用政策の問題点
 ■市場原理主義と労働法制－労働市場法制論の矛盾を中心に－
 国際・国内動向 ■全労連女性部結成10周年記念国際女性シンポジウム
 ■新農業基本法と日本の食料
 ■大きな成功をおさめた第1回職場革新懇全国交流集会
 書 評●竹内真一著『失業時代を生きる若者』
 ●齊藤隆夫著『戦後イタリア労働組合史論』
 新刊紹介●建設一般50年史編纂委員会編『建設一般の50年』丸谷肇●佛教大学総合研究所編『ジェンダーで社会
 政策をひらく』津田美穂子●塚田義彦・太田正史編『太田薫－太田ラッパ鳴りやまず』草島和幸
 ●総目次 (No.33～36)
- 大木 一訓
 白井 邦彦
 藤田 実
 脇田 滋
 田中 洋子
 真嶋 良孝
 藤吉 信博
 浜島 勇
 宮前 忠夫
- 第38号 (2000年春季号)
 特 集●新自由主義的構造改革と国民生活
 ■現在の資本主義擁護経済路線の性格
 ■金融再編と政治動向
 ■財政危機と税制問題
 ■「社会保障構造改革」論を読む
 国際・国内動向 ■「21世紀における交代制勤務」
 ー第14回国際夜勤交代勤務シンポジウムに参加してー
 ■今日の雇用情勢と第9次雇用対策基本計画に関連して
 書 評●橋本俊詔著『日本の経済格差』
 ●社会政策学会編『日雇労働者・ホームレスと現代日本』
 ●浅生卯一・猿田正義他著『社会環境の変化と自動車生産システム』
 新刊紹介●宮下忠子編『現状報告・路上に生きる命の群』小澤薫●江口英一編著『改訂新版・生活分析から福祉
 へ』山本補将
- 関 恒義
 平河 寛治
 垣内 亮
 相澤 與一
 桂木 誠志
 内山 昂
 唐鎌 直義
 大須 真治
 西村 直樹
- 第39号 (2000年夏季号)
 特 集●日産自動車リストラの特徴と政策課題
 ■JMIU日産自動車支部の35年－階級的労働組合運動の旗を掲げて－
 ■日産自動車大リストラと多国籍企業ルノーの経営戦略
 ■ルノーの「最適地購入」と系列解体・下請つぶし
 ■日産リバイバルプランと政府・企業の責任
 ■雇用保護・解雇規制と大企業の社会的責任に関する国際常識の進展
 ールノーのベルギー工場閉鎖問題等を重要契機にー
 国際・国内動向 ■ドイツにおけるリストラ・解雇規制 ハイナ－・ヘーゼラー／ウルリッヒ・ミュッケンベルガー
 ■「ベルリンの壁」撤去を目指して－富士通と闘うJMIU高見沢電機支部－
 書 評●二宮厚美著『現代資本主義と新自由主義の暴走』
 ●中本悟著『現代アメリカの通商政策』
 新刊紹介●儀我壮一郎著『葉の支配者』日野秀逸●塩沢美代子監修・広木道子著『アジアに生きる女性たち』澤
 田幸子●藤本正著『労働契約・就業規則・労働協約』金田豊●脇田滋著『派遣社員の悩みQ&A』金
 田豊
- 坂ノ下征穂
 佐々木昭三
 金田 豊
 西村 直樹
 宮前 忠夫
 松沢 秀紀
 浜岡 政好
 本田 浩邦

第40号 (2000年秋季号)

特集●労働総研設立10年の足跡

- 10年をふりかえって
- 労働総研これからの10年に期待する
- 実践的研究に期待
- 21世紀初頭における情勢の特徴と研究課題ー労働総研10年を総括してー
- 労働総研10年の事業活動の広がり到達点
- 機関誌「労働総研クォーター」総目次
- 機関紙「労働総研ニュース」総目次
- 海外向け機関紙「Rodo-Soken Journal」総目次

黒川 俊雄
戸木田嘉久
小林 洋二

書評●三富紀敬著『イギリスの在宅介護者』

高島 進

- 仲野組子著『アメリカの非正規雇用』

夏目 啓二

- 産業構造研究会編『現代日本産業の構造と動態』

上原 信博

新刊紹介●川村俊夫著『日本国憲法の心とは何か』吉田健一●小越洋之助監修労働総研編『今日の賃金ー財界の戦略と矛盾』伊藤欽次

機関紙「労働総研ニュース」総目次

※主な論文・記事を掲載

No.1・90年4月

- ・「労働総研ニュース」の創刊にあたって

戸木田嘉久

No.2・5月

- ・エコロジカル・アカウンティングの提唱
- ・アジア・太平洋労働組合同国際セミナー・ワークショップ報告

山口 孝
永山 利和

No.3・6月

- ・1992年に1800労働時間は達成可能か
- ・自由化、民主化後のハンガリーの印象
- ・日本経済の現状と展望

藤本 武
角瀬 保雄
関 恒義

No.4・7月

- ・労働組合運動活性化の途は？
- ・ユーゴスラビア、イタリア、スペイン訪問

塩田庄兵衛
日野 秀逸

No.5・8月

- ・いかなる労働者像をえがくか
- ・90春闘の特徴と教訓

江口 英一
熊谷 金道

No.6・9月

- ・「多国籍企業」と「下からの規制」
- ・いのちと健康を守る運動に新しい発想を

儀我壮一郎
山田 信也

No.7・10月

- ・労働運動と教育要求
- ・金融をめぐる現在の情勢

大槻 健
今宮 謙二

No.8・11月

- ・日本の国際的責務
- ・フランスの1985/86年生活時間調査

浜林 正夫
三富 紀敬

No.9・12月

- ・石油企業の不正
- ・高齢化社会危機論の論点と批判の方向

上田 誠吉
川上 則道

No.10・91年1月

- ・地球環境問題と労働組合運動
- ・新しい大学危機と世界各地の大学訪問

黒川 俊雄
永山 利和